

開運温泉・八幡坂楽市楽座

◆事業の目的・背景

高札ひろば、秋宮前観光案内所、中山道と甲州街道の合流点である綿の湯、そして児湯などを歩いて回れる下諏訪だからこそ町歩きをしてもらい、町の良さを知ってもらおうとともに町内で消費を行ってもらい、下諏訪の財産である温泉の保持・保全のため旅館組合と下諏訪財産区、下諏訪商工会議所が手を組み、毎月26日を「26（ふろ）の日」に定め、「開運温泉・八幡坂楽市楽座」と銘打ち下諏訪温泉 PR イベントを実施する。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
令和2年	・毎月26日を「風呂の日」と定め、秋宮前観光案内所、綿の湯跡、児湯、高札ひろばにてイベントを実施。 ・「風呂の日」を周知するため、法被やのぼり旗、看板を作製。	450,000 円

◆事業成果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大という逆境の中でも、イベント開催時には、のぼり旗があることで目印になり、観光客に対して下諏訪温泉を周知することができた。
- ・買い物困難者となっているお年寄りの方や近隣住人の方にも、毎月の出店を楽しみにしていただけるようになった。
- ・イベント参加事業者に「下諏訪温泉」と書かれた同一の法被を着て販売してもらうことにより、購入時の安心・安全を PR することができた。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・地元の野菜や長野県では珍しいものなどを出店しており、年齢層の高いお客さんが多く、年齢層にあった商品の販売は好調だが、若い方も来ていただけるような魅力あるイベントを企画しつつ持続していくための仕組みづくりを考えていく。